

平成 25 年 5 月 17 日

各位

会 社 名	株式会社ハマキョウレックス (コード:9037、東証第一部)
代表者名	代表取締役社長 大須賀 秀徳
問い合わせ先	常務取締役執行役員 山崎 裕康 (Tel 053-444-0054)
会 社 名	SG ホールディングス株式会社
代表者名	代表取締役会長兼社長 栗和田 榮一
問い合わせ先	経営企画担当執行役員 和田 潔 (Tel 03-5677-1587)

株式会社ハマキョウレックスとSGホールディングス株式会社の完全子会社である佐川グローバルロジスティクス株式会社との株式交換契約の締結ならびに株式会社ハマキョウレックスとSGホールディングス株式会社による資本業務提携について

株式会社ハマキョウレックス(以下「ハマキョウレックス」といいます。)とSGホールディングス株式会社(以下「SGホールディングス」といいます。)は、本日開催の両社の取締役会において、両社が企業としての独立性を保持しつつ、国内3PL事業に関する緊密な提携を行うことにより、両社の企業価値を最大化することを目的として、次のとおり株式交換及び資本業務提携を行うことを決議し、これに合意いたしましたのでお知らせいたします。

ハマキョウレックスとSGホールディングスの完全子会社である佐川グローバルロジスティクス株式会社(以下「佐川グローバルロジスティクス」といいます。)は、本日、ハマキョウレックスを株式交換完全親会社、佐川グローバルロジスティクスを株式交換完全子会社とする株式交換契約(以下「本株式交換契約」といい、これに基づく株式交換を「本株式交換」といいます。)を締結するとともに、ハマキョウレックスとSGホールディングスは資本業務提携契約(以下、「本資本業務提携契約」といい、これに基づく資本業務提携を「本資本業務提携」といいます。)を締結いたしました。

本株式交換に基づき、佐川グローバルロジスティクスはハマキョウレックスの完全子会社となり、SGホールディングスは、ハマキョウレックスのその他の関係会社となります。

なお、本株式交換契約につきましては、平成25年6月18日開催予定のハマキョウレックス株主総会に付議いたします。

1. 本株式交換及び本資本業務提携の目的・理由

ハマキョウレックスは3PL事業(※)に関する20年以上の長い歴史と実績で培った経験とノウハウを活かし、効率的かつ効果的な物流改革を全国に展開してきました。「日々収支」「全員参加」「コミュニケーション」をキー

ワードに掲げ、質の高い物流サービスの提供を通じて、更なる高みを目指すべく、全社一丸となって取り組んでおります。

※ 3PL 事業

荷主に対して物流改革を提案し、包括して企業活動における物流・SCM 業務等を受託(アウトソーシング)するサービスのこと。

SG ホールディングスは新中期経営計画「Third Stage Plan」の経営ビジョンに基づき、グループ力の発揮や、他社とのアライアンスの強化等を新たな成長エンジンと位置づけ、新経営ビジョン「グループ内外の経営資源活用と連携深化で新たな価値を創造し、経営基盤強化と持続的な成長を目指します」を掲げ、「シナジー、変革、そしてスピード」をテーマに、「グループ収益力の極大化」「事業領域拡充によるグループ総合力向上」「経営基盤の強化・高度化」「ステークホルダー経営の本格導入」を基本戦略とし、事業を推進しております。

両社が属する物流業界は、先行き不透明な世界経済情勢、国内物流市場の縮小等、厳しい事業環境が続いていることに加え、物流各社間の競争は限られた成長機会を求めて益々激しさを増してきております。このような経営環境の下、中長期的な成長を実現するためには、従来の事業戦略の枠に囚われない取組みが求められており、これまでにない企業間の密接な連携もその選択肢の一つと考えております。ハマキョウレックスと SG ホールディングスは中長期的な成長に対する危機感を共有すると共に、現状を打破すべく互いの強みを最大限に活かす可能性を認識し、将来の競争優位性を確立することを目標として、平成 25 年 1 月 31 日に基本合意書を締結し、協議、検討を進め、今回の株式交換及び資本業務提携に至りました。

両社は、成長領域である 3PL 事業において国内トップクラスを目指すべく、両社の経営資源を結集し、強固な競争基盤の確立を目指します。具体的には、以下の効果が期待できると考えております。

①両社グループ総合力を活かした相乗効果の発揮

両社及び各グループ会社の既存得意事業分野を組み合わせ、相互補完することで、あらゆる業種・品目を含む企業物流の上流から下流、動脈(基幹輸配送)から静脈(回収物流)まで一貫して管理可能な事業体制を実現して参ります。

両グループには、ハマキョウレックスと佐川グローバルロジスティクスの 3PL 事業をはじめ、ハマキョウレックスには貨物自動車運送事業、SG ホールディングスには主要事業であるデリバリー事業、大型・規格外荷物の配送、物流不動産の管理・運用・開発、決済代行業務、人材派遣、百貨店納品代行、トラック等の車両整備/補修を行う事業会社があり、多様な市場に対して横断的に展開しております。

これら事業会社の強みを相互に組み合わせることにより相乗効果を創出し、従来以上の企業価値向上に努めます。

②豊富な顧客層の相互活用

SGホールディングスグループは宅配便市場において大規模な市場シェア、非常に多様な顧客層を有しております。特に顧客層に関しては、日本市場における各産業のトップクラス企業を荷主として、長期間安定的に取引関係を継続させて頂いている実績もあります。

SGホールディングスが築いてきた優良な顧客基盤であるトップクラスの顧客企業に対して、ハマキョウレックスの有するビジネスノウハウを基にした優れた提案を行い、激しい競争環境を勝ち抜くためのロジスティクス・パートナーとして、顧客とともに発展し続ける3PL事業者を目指します。

2. 本株式交換の要旨及び本資本業務提携の内容等

(1) 本株式交換及び本資本業務提携の日程

- 平成 25 年 5 月 17 日 本株式交換契約締結の取締役会決議(ハマキョウレックス、佐川グローバルロジスティクス)
- 平成 25 年 5 月 17 日 本株式交換契約締結(ハマキョウレックス、佐川グローバルロジスティクス)
- 平成 25 年 5 月 17 日 本資本業務提携契約締結(ハマキョウレックス、SGホールディングス)
- 平成 25 年 6 月 18 日 定時株主総会開催(予定)(ハマキョウレックス)
- 平成 25 年 10 月 1 日 本株式交換の効力発生日(予定)

(2) 本株式交換の方式

平成 25 年 5 月 17 日に締結した本株式交換契約に基づき、平成 25 年 10 月 1 日を本株式交換の効力発生日として、ハマキョウレックスを株式交換完全親会社、佐川グローバルロジスティクスを株式交換完全子会社とする株式交換を行います。本株式交換により、SGホールディングスが有する佐川グローバルロジスティクスの発行済株式全部をハマキョウレックスが取得し、SGホールディングスに対してハマキョウレックスの発行する普通株式を割当交付します。本株式交換後、佐川グローバルロジスティクスはハマキョウレックスの完全子会社となり、SGホールディングスはハマキョウレックスのその他の関係会社となります。

(3) 本株式交換に係る割当ての内容

会社名	株式会社ハマキョウレックス (株式交換完全親会社)	佐川グローバルロジスティクス株式会社 (株式交換完全子会社)
株式交換比率	1	2.09

(注1) 株式の割当比率

佐川グローバルロジスティクスの普通株式 1 株に対して、ハマキョウレックスの普通株式 2.09 株を割当て交付します。

(注2) 本株式交換により交付する株式数等

ハマキョウレックスは、本株式交換によりハマキョウレックスが佐川グローバルロジスティクスの発行済株式の全部を取得する時点の直前時の佐川グローバルロジスティクスの株主名簿に記載

載または記録された株主の有する佐川グローバルロジスティクスの普通株式数の合計数に
2.09 を乗じた数のハマキョウレックスの普通株式 2,090,000 株を新たに発行し、交付します。

(4) 本株式交換に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

佐川グローバルロジスティクスは、新株予約権及び新株予約権付社債のいずれも発行していないため、該
当事項はありません。

(5) 本資本業務提携の内容等

本株式交換により SG ホールディングスはハマキョウレックスの普通株式 2,090,000 株を新たに取得するこ
ととなり、当該株式にかかる議決権のハマキョウレックスの総議決権に対する割合(以下「議決権割合」とい
います。)は 20.0%(少数点以下第 2 位切捨て。以下同じ。)となります。なお、本資本業務提携契約において、
ハマキョウレックス及び SG ホールディングスは、両社が企業としての独立性を保持しつつ、両社間の良好な
取引関係を維持することを目的とすること、及び、本資本業務提携契約締結日以後、SGホールディングスが
保有するハマキョウレックス株式にかかる議決権割合について 20.0%を維持することを、両社間で確認して
おります。

ハマキョウレックス及び SG ホールディングスは、両社が有するグループ事業会社の強みを活かした相乗
効果の実現、豊富な顧客層の相互利用などを企図しております。業務提携の具体的な内容については現在
検討中であり、両社の業績に与える影響は未定です。

3. 本株式交換に係る割当ての内容の算定根拠等

(1) 算定の基礎

本株式交換の株式交換比率の公正性を確保するため、両当事者がそれぞれ個別に両社から独立した第
三者算定機関に株式交換比率の算定を依頼することとし、ハマキョウレックスは、みずほ証券株式会社(以
下「みずほ証券」といいます。)を、SG ホールディングスは、SMBC 日興証券株式会社(以下「SMBC 日興
証券」といいます。)を、それぞれ第三者算定機関として選定いたしました。

みずほ証券は、ハマキョウレックスについては、市場株価基準法、類似企業比較法、ディスカунテッド・キ
ャッシュ・フロー法(以下「DCF 法」といいます。)による分析を行い、佐川グローバルロジスティクスについて
は、類似企業比較法、DCF 法による分析を行い、株式交換比率を算定しました。ハマキョウレックス株式の 1
株当たりの株式価値を 1 とした場合の各手法における算定結果は、以下のとおりとなります。

採用手法		株式交換比率の 算定レンジ
ハマキョウレックス	佐川グローバルロジスティクス	
市場株価基準法	類似企業比較法	1.92 ~ 3.54
類似企業比較法	類似企業比較法	1.97 ~ 2.74

DCF 法	DCF 法	2.02 ～ 2.51
-------	-------	-------------

なお、市場株価基準法については、平成 25 年 5 月 16 日を算定基準日として、東京証券取引所市場第 1 部(以下「東証第 1 部」といいます。)におけるハマキョウレックスの普通株式の、算定基準日における終値、並びに算定基準日までの直近 1 ヶ月及び 3 ヶ月の各取引日における終値平均値を算定の基礎としています。また、佐川グローバルロジスティクスは非上場会社であり市場株価が存在しないため、市場性評価手法である類似企業比較法による算定結果を引用し、株式交換比率の算定レンジを算出しております。

DCF 法については、両社の事業計画、直近までの業績の動向等の諸要素を考慮して両社が作成した 2013 年 3 月期以降の両社の将来の収益予想に基づき、両社が将来生み出すと見込まれるフリー・キャッシュ・フローを一定の割引率で現在価値に割り引いて 1 株当たりの株式価値を算定し、株式交換比率の算定レンジを算出しております。

みずほ証券は、株式交換比率の算定に際して、ハマキョウレックス及び佐川グローバルロジスティクスから提供を受けた情報、一般に公開された情報等を使用し、それらの資料、情報等が全て正確かつ完全なものであること、株式交換比率の算定に重大な影響を与える可能性がある事実でみずほ証券に対して未開示の事実はないこと等を前提としており、独自にそれらの正確性及び完全性の検証を行っておりません。また、両社及びその子会社・関連会社の資産または負債(偶発債務を含みます。)について、独自に評価または査定を行っておりません。みずほ証券の株式交換比率算定は、2013 年 5 月 16 日現在までの情報及び経済条件を反映したものであり、ハマキョウレックス及び佐川グローバルロジスティクスの財務予測については、ハマキョウレックス及び佐川グローバルロジスティクスにより現時点で得られる最善の予測及び判断に基づき合理的に検討または作成されたことを前提としております。

一方、SMBC 日興証券は、ハマキョウレックスについては、ハマキョウレックス株式が東証第 1 部に上場されており、市場株価が存在することから市場株価法(平成 25 年 5 月 15 日を算定基準日として、東証第 1 部におけるハマキョウレックスの普通株式の算定基準日までの直近 1 ヶ月、3 ヶ月、及びハマキョウレックスにより「平成 25 年 3 月期決算短信」が公表された平成 25 年 5 月 9 日から算定基準日までの各々の期間における終値平均値を算定の基礎としています。)を、加えて将来の事業活動の状況を評価に反映させるため、DCF 法を採用して算定を行いました。

佐川グローバルロジスティクスについては、非上場会社であるものの、比較可能な上場類似企業が複数存在し、類似企業比較分析による株式価値の類推が可能であることから類似上場会社比較法を、加えて将来の事業活動の状況を評価に反映させるため、DCF 法を採用して算定を行いました。

ハマキョウレックス株式の 1 株当たりの株式価値を 1 とした場合の各手法における算定結果は、以下のとおりとなります。

ハマキョウレックス 採用手法	佐川グローバル ロジスティクス採用手法	株式交換比率の 評価レンジ
市場株価法	類似上場会社比較法	1.86 ~ 2.32
DCF 法	DCF 法	1.36 ~ 2.47

SMBC日興証券は、株式交換比率の算定を行うにあたり、検討された財務情報又は財務予測を含め、ハマキョウレックス及び佐川グローバルロジスティクス並びにそれらの関係会社に関するあらゆる情報は、全て正確かつ完全なものであることを前提としており、その正確性及び完全性について独自に検証する責任を負っており、また独自に検証しておりません。また、ハマキョウレックス及び佐川グローバルロジスティクス並びにそれらの関係会社のいかなる資産又は負債についても、SMBC日興証券は独自の評価又は査定も行っておりません。また、ハマキョウレックス及び佐川グローバルロジスティクス並びにそれらの関係会社の重要な情報が全て適切に開示され、未開示の訴訟、紛争、環境、税務等に関する債権債務その他の偶発債務・簿外債務並びに株式交換比率の算定に重大な影響を及ぼすその他の事実については存在しないことを前提としております。また、ハマキョウレックス及び佐川グローバルロジスティクスから提供を受けた事業計画は、ハマキョウレックス及び佐川グローバルロジスティクスの算定基準日における最善の予測、判断及び合理的な根拠に基づき、適正な手続きに従って作成されたことを前提としており、その正確性、妥当性及び実現性について独自に検証する責任を負っており、また独自に検証しておりません。なお、SMBC日興証券の分析は算定基準日現在における金融、経済、市場その他の状況を前提としております。

なお、DCF法による算定において前提としたハマキョウレックス及び佐川グローバルロジスティクスの将来利益計画には大幅な増減益を見込む事業年度は含まれておりません。

(2) 算定の経緯

ハマキョウレックス及びSGホールディングスは、それぞれの第三者算定機関から提出を受けた株式交換比率の算定結果を参考に、ハマキョウレックスの株価動向、各社の財務状況、資産の状況、将来の事業・業績見通し等の要因を総合的に勘案し、両社で株式交換比率について慎重に交渉・協議を重ねた結果、本日、最終的に上記2.(3)「本株式交換に係る割当ての内容」記載の株式交換比率が妥当であるとの判断に至り、合意・決定いたしました。

(3) 算定機関との関係

ハマキョウレックスの第三者算定機関であるみずほ証券は、ハマキョウレックス並びに佐川グローバルロジスティクス及びSGホールディングスの関連当事者には該当せず、本株式交換に関して記載すべき重要な利害関係を有しません。

また、SGホールディングスの第三者算定機関であるSMBC日興証券は、ハマキョウレックス並びにSGホールディングス及び佐川グローバルロジスティクスの関連当事者には該当せず、本株式交換に関して記載すべき重要な利害関係を有しません。

(4) 上場廃止となる見込み及びその理由

佐川グローバルロジスティクスは非上場会社であるため、該当事項はございません。

(5) 公正性を担保するための措置

本株式交換に際して、公正性を担保することを目的として、ハマキョウレックス並びにSGホールディングスはそれぞれ個別に独立した第三者算定機関に株式交換比率の算定を依頼しております。

ハマキョウレックスは第三者算定機関であるみずほ証券に、SGホールディングスは第三者算定機関であるSMBC日興証券に、それぞれ本株式交換に関する株式交換比率の算定を依頼いたしました。なお、ハマキョウレックス及びSGホールディングスは、上記第三者算定機関より、合意された本株式交換の株式交換比率がそれぞれの株主の皆様にとって財務的見地より妥当である旨の意見書(いわゆるフェアネス・オピニオン)は取得しておりません。

4. 本株式交換及び本資本業務提携の当事会社の概要

ハマキョウレックスの概要(本株式交換における株式交換完全親会社及び本資本業務提携の当事会社)

(1) 名 称	株式会社ハマキョウレックス	
(2) 所 在 地	静岡県浜松市南区寺脇町 1701 番地の 1	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 大須賀 正孝 代表取締役社長 大須賀 秀徳	
(4) 事 業 内 容	物流センター事業、一般貨物自動車運送事業	
(5) 資 本 金	4,045 百万円(平成 25 年 3 月 31 日現在)	
(6) 設 立 年 月 日	昭和 46 年 2 月 1 日	
(7) 発 行 済 株 式 数	8,356,000 株(平成 25 年 3 月 31 日現在)	
(8) 決 算 期	3 月 31 日	
(9) 従 業 員 数	(連結)4,062 名(平成 25 年 3 月 31 日現在)	
(10) 主 要 取 引 先	(株)平和堂、(株)日本アクセス、(株)スクロール	
(11) 主 要 取 引 銀 行	静岡銀行株式会社、とびあ浜松農業協同組合	
(12) 大株主及び持株比率	エムエフカンパニー株式会社	13.82%

	BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND(PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFO(常任代理人 株式会社三菱東京UFJ 銀行)) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 大須賀 正孝 大須賀 秀徳 (平成 25 年 3 月 31 日現在)	8.97% 6.71% 4.53% 2.99% 2.97%
(13)	ハマキョウレックスと SG ホールディングス及び佐川グローバルロジスティクスとの関係	
	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	ハマキョウレックスと SG ホールディングス及び佐川グローバルロジスティクスとの間には特筆すべき取引関係はありません。ハマキョウレックスは、SG ホールディングスの連結子会社である佐川急便株式会社に対して一部の運送業務を委託しておりますが、これ以外にハマキョウレックスの関係者及び関係会社と SG ホールディングスの関係者及び関係会社との間には、特筆すべき取引関係はありません。
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。

SG ホールディングスの概要(本資本業務提携の当事会社)

(1) 名 称	SG ホールディングス株式会社	
(2) 所 在 地	京都市南区上鳥羽角田町 68 番地	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長兼社長 栗和田 榮一	
(4) 事 業 内 容	グループ経営戦略策定・管理並びにそれらに付帯する業務	
(5) 資 本 金	11,383 百万円(平成 25 年 3 月 20 日現在)	
(6) 設 立 年 月 日	平成 18 年 3 月 21 日	
(7) 発 行 済 株 式 数	106,732,400 株(平成 25 年 3 月 20 日現在)	
(8) 決 算 期	3 月 20 日	
(9) 従 業 員 数	(連結)70,628 名(平成 25 年 3 月 20 日現在)	
(10) 大株主及び持株比率	SG ホールディングスグループ従業員持株会	30.5%
	新生興産株式会社	11.8%
	SG ホールディングスグループ役員持株会	9.0%

	栗和田 榮一	5.0%
	公益財団法人佐川美術館	4.9%
(11) SG ホールディングスとハマキョウレックスとの関係		
資 本 関 係	該当事項はありません。	
人 的 関 係	該当事項はありません。	
取 引 関 係	SG ホールディングスとハマキョウレックスとの間には特筆すべき取引関係はありません。SG ホールディングスの連結子会社である佐川急便株式会社は、ハマキョウレックスより一部の運送業務を受託しておりますが、これ以外に、SG ホールディングスの関係者及び関係会社とハマキョウレックスの関係者及び関係会社との間には、特筆すべき取引関係はありません。	
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。	

佐川グローバルロジスティクスの概要(本株式交換の株式交換完全子会社)

(1) 名 称	佐川グローバルロジスティクス株式会社	
(2) 所 在 地	東京都品川区勝島一丁目1番1号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 石川 秀範	
(4) 事 業 内 容	国内ロジスティクス事業	
(5) 資 本 金	1,500 百万円(平成 25 年 5 月 1 日現在)	
(6) 設 立 年 月 日	平成 25 年 5 月 1 日	
(7) 発 行 済 株 式 数	1,000,000 株(平成 25 年 5 月 1 日現在)	
(8) 決 算 期	3 月 20 日	
(9) 従 業 員 数	4,459 名(平成 25 年 5 月 1 日現在)	
(10) 大株主及び持株比率	SG ホールディングス株式会社	100.0%
	(平成 25 年 5 月 1 日)	
(11) 佐川グローバルロジスティクスとハマキョウレックスとの関係		
資 本 関 係	該当事項はありません。	
人 的 関 係	該当事項はありません。	
取 引 関 係	佐川グローバルロジスティクスとハマキョウレックスとの間には特筆すべき取引関係はありません。また、佐川グローバルロジスティクスの関係者及び関係会社とハマキョウレックスの関係者及び関係会社との間にも、特筆すべき取引関係はありません。	
関 連 当 事 者 へ の	該当事項はありません。	

当期純利益(百万円)			
1株当たり当期純利益(円)			
1株当たり配当金(円)			

(注1) 佐川グローバルロジスティクスは、新設分割設立会社であり、終了した事業年度が存在しません。上記数値は、新設分割会社である SGH グローバル・ジャパンの新設分割前の計算書類をもとに、同社の国内部門を分離した場合の想定数値を記載しております。

(注2) 佐川グローバルロジスティクスは連結指標等を作成しておらず、上記数値は佐川グローバルロジスティクス単体の指標となります。なお、子会社である佐川ロジスティクスパートナーズについては、金額的重要性が小さいため、記載は省略させていただきます。

SG ホールディングス(連結)

決算期	平成 23 年 3 月期 (連結)	平成 24 年 3 月期 (連結)	平成 25 年 3 月期 (連結)
純資産(百万円)	139,626	143,818	166,119
総資産(百万円)	554,261	568,470	557,798
1株当たり純資産(円)	1,292.49	1,331.82	1,538.48
売上高(百万円)	894,346	881,134	871,388
営業利益(百万円)	30,335	29,541	31,027
経常利益(百万円)	26,887	26,448	28,687
当期純利益(百万円)	14,227	6,104	23,430
1株当たり当期純利益(円)	130.10	53.39	215.10
(普通株式)1株当たり配当金(円)	15.00	18.00	21.00
(優先株式)1株当たり配当金(円)	15.50	18.50	21.50

5. 本株式交換後の状況

	株式交換完全親会社
(1) 名称	株式会社ハマキョウレックス
(2) 所在地	静岡県浜松市南区寺脇町 1701 番地の 1
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 大須賀 正孝 代表取締役社長 大須賀 秀徳
(4) 事業内容	物流センター事業、一般貨物自動車運送事業
(5) 資本金	現時点では確定しておりません。
(6) 決算期	3月31日
(7) 純資産	現時点では確定しておりません。

(8) 総資産	現時点では確定しておりません。
---------	-----------------

6. 会計処理の概要

本株式交換に伴う会計処理は、企業結合に関する会計基準における取得の会計処理を適用する見込みです。これに伴いのれんの発生は見込まれますが、その金額は現時点では確定しておりません。

7. 今後の見通し

本株式交換後、佐川グローバルロジスティクスはハマキョウレックスの完全子会社となり、ハマキョウレックスはSGホールディングスの持分法適用関連会社となります。なお、本株式交換が、ハマキョウレックスの連結業績予想に与える影響は現時点では未定です。詳細が判明次第お知らせいたします。

以上